

企画展 好奇心の向かうところ、林魁一展

会 期：2022年4月23日（土）～5月29日（日）（37日間）

会 場：企画展示室

展示点数：236点

観覧料：無料

入場者数：1,164人



【内容】

明治、大正、昭和に生き、時代の変化を太田から見つめ続けた林魁一（1875－1961）。中山道太田宿で江戸時代から続く脇本陣林家の長男として生まれた魁一について、旺盛な好奇心のあり方、地域の歴史や文化に寄せた思い等から、明らかになりつつある魁一のまなざしを紹介しました。

本展の開催に関しては、現在の林家の皆様から、多くの協力を得ることができました。改めてお礼申し上げます。会場では、魁一の幅広い関心・活動を整理するために、展示室内を3つのパートで構成しました。

【関連事業】

□ミュージアムトーク「林魁一を掘る」（当館学芸員による展示解説）

4月23日（土）13:30～14:30 参加者：14人

4月27日（木）13:30～14:30 参加者：10人

5月1日（日）13:30～14:30 参加者：17人

□展覧会を掘る「読んでみよう 魁一の『日記』」

魁一が大正時代に綴った日記を実際に読んでみました。日記からは、魁一の日々の活動、交流した人々、日常の風景を読み取ることができました。

5月15日（日）13:30～15:00 参加者：7人

5月28日（土）13:30～15:00 参加者：6人

講 師 担当学芸員3名

会 場：研修室

参加料：無料

好奇心の向かうところ、林魁一 展 展示資料目録

◆資料点数 145件／236点 ◆会期 2022.4.23～5.29

◆会場 美濃加茂市民ミュージアム企画展示室 ◆分野:1「考古・民俗」、2「文化・芸術」、3「歴史」

◆本目録と実際の展示品は、一部異なる場合があります。

通番	分野	コーナー	no.	資料名	点数	時代・年	西暦	所蔵	形態	備考	備考2
1	1	a	1	第8回岐阜タイムス文化賞	4	昭和33	1958	個人蔵	賞状ほか	表彰状(額)、写真、副賞	
2	1	2	2	林が発見した、古代寺院の瓦	5	飛鳥時代	7世紀後半	個人蔵	瓦	軒丸瓦(4)、軒平瓦(1)	太田元薬師廃寺跡、坂祝町酒倉字北野～美濃加茂市草笛町、西町出土
3	1	2	3	美濃国刻印須恵器	1	奈良時代	8世紀前半	館蔵	土器	「美濃」	
4	1	2	4	『あけぼの 太田町石器時代史』	1	昭和28	1953	個人蔵	複製	林魁一先生校閲、龍山省念著	
5	1	2	5	『表面採集Ⅰ』	1	昭和46	1971	館蔵	冊子	美濃加茂市立西中学校郷土研究部による作成	
6	1	2	6	文化の森で保管・展示中の瓦	3	飛鳥時代	7世紀後半	館蔵	瓦	軒丸瓦(3)	太田元薬師廃寺跡、美濃加茂市草笛町出土
7	1	2	7	当地の古代寺院に関する研究	1	令和2	2020	館蔵	冊子	渡辺博人「美濃加茂市仲迫間遺跡出土の美濃国刻印須恵器」	美濃加茂市民ミュージアム紀要第19集
8	1	b	8	佐波古墳出土青銅鏡	5	古墳時代		個人蔵	青銅器	画文帯神獣鏡、龍鏡、振文鏡、不明。今回、計5点を確認できた。	考古学雑誌16-6(大正15年)掲載
9	1	b	9	四獣形鏡	1	古墳時代		個人蔵	青銅器	富塚古墳／現 岐阜市土居	ドルメン2-6(昭和8)掲載
10	1	b	10	三角縁神獣鏡	1	古墳時代		個人蔵	青銅器	東寺山古墳／現 可児郡御嵩町	
11	1	b	11	巴形銅器	1	古墳時代		個人蔵	青銅器	鷹之巣大塚古墳／現 美濃加茂市加茂野町	東京人類学雑誌13-150(明治31)、美濃加茂市史 通史編 掲載
12	1	3	12	林魁一宛の書簡	6	昭和時代		個人蔵	葉書ほか	浜田耕作、森本六爾、角田文衛、牧野西洲、大江錦舟、岐阜県師範学校から	
13	1	3	13	第6回日本人類学会・日本民族学会写真	1	昭和26	1951	個人蔵	写真	京都大学	裏面に「柳田国男氏」「長谷部言人氏」のみ記載。
14	1	3	14	考古学協会総会写真	1	昭和27	1952	個人蔵	写真	京都大学	
15	1	3	15	考古学協会総会写真	1	昭和28	1953	個人蔵	写真	京都大学	
16	1	3	16	第10回日本人類学会・日本民族学会写真	1	昭和30	1955	個人蔵	写真	南山大学	
17	1	4	17	美濃国石器時代遺物地名表	1			個人蔵	紐綴	解説の章を設けている。推敲あり。	
18	1	4	18	パレス壺	1	弥生時代後期		個人蔵	土器	「太田乞食巾」	収納箱は、「・・・太田町停車場付近発見」
19	1	4	19	高杯	1	古墳時代		個人蔵	土器	「太田乞食巾」	碗形、脚部欠損
20	1	4	20	磨製石斧	1	縄文～弥生時代		個人蔵	石器	「太田町乞食巾」	
21	1	4	21	石鏃等	1	縄文～弥生時代		個人蔵	石器	「加茂郡太田町乞食巾発見」	剥片石器をボール紙に糸で縛り付け
22	1	4	22	太田乞食巾略図	1			個人蔵	一紙	昭和四?年	下半には「古井町二ツ塚付近」の略図あり(遺跡立地の景観)
23	1	4	23	太田町停車場付近写真	1			個人蔵	一紙	「太田町停車場付近」	ボール紙に二段組写真(「古井 二ツ塚」)
24	1	4	24	遺跡立地の景観写真	1			個人蔵	一紙	「坂祝村アシド」「土田村北裏」	ボール紙に二段組写真
25	1	4	25	石鏃等	1	縄文～弥生時代		個人蔵	石器	「土田 酒倉アシド 太田」	剥片石器をボール紙に糸で縛り付け
26	1	4	26	石鏃等	1	縄文～弥生時代		個人蔵	石器	「可児郡土田村北裏発見」	剥片石器をボール紙に糸で縛り付け
27	1	4	27	脚付無頸壺	1	古墳時代		個人蔵	土器	「加茂郡古井町下古井」	
28	1	4	28	瓢壺	1	古墳時代		個人蔵	土器	体部欠損。	遺物写真「加茂郡古井町字発見弥生式」に掲載。
29	1	4	29	写真	7			個人蔵	写真	「加茂郡古井町下古井」の調査地、出土品に関して。	

30	1	4	30	御物石器	1	縄文時代前期		個人蔵	石器	「飛騨国益田郡川西村西上田字神屋敷発見 異形石器 一個 蘇陽」	
31	1	c	31	石器時代遺物之図	1			個人蔵	軸装	紙本着色。土偶(古井村川合塚原)、打製石斧(坂祝村酒倉)、木製剣(岐阜市日野)	141.0×33.0cm
32	1	c	32	漢詩	1			個人蔵	軸装	紙本墨書。24.6×17.7cm	
33	1	c	33	石鏃等	1	縄文～弥生時代		個人蔵	石器	「加茂郡伊深村発見 字明神 字天神」	剥片石器をボール紙に糸で縛り付け
34	1	c	34	林 魁一肖像画	1	昭和11	1936	個人蔵	軸装	絹本着色。106.0×39.0cm	林家家紋の羽織で正装した姿
35	1	5	35	古墳(時代)に関する解説 原稿	1			個人蔵	ひも綴		
36	1	5	36	横穴式石室図面	1			個人蔵	一紙	「一図」と記載。平面図には、出土遺物も記されている。	
37	1	5	37	高坏	1	古墳時代後期		個人蔵	土器	須恵器、無蓋。脚部外面に「鵜沼宝積寺」と注記あり。猿投窯産。	遺存状態から、古墳出土品か。
38	1	5	38	高坏	1	古墳時代後期		個人蔵	土器	須恵器、無蓋、長脚二段透かし孔。尾張産。	遺存状態から、古墳出土品か。
39	1	5	39	壺形埴輪	1	古墳時代前期		個人蔵	土器	底部、穿孔あり。西寺山古墳に類例。	注記「中学校24.4.15」
40	1	5	40	解体された坂下古墳の石室写真	1			個人蔵	一紙	紙焼写真。古墳の石室が解体されている。そこに林が立っている。	昭和8年頃
41	1	5	41	坂下古墳調査時の出土品写真	2			個人蔵	一紙	紙焼写真。古墳の副葬品が中心。	土師器、須恵器、鉄剣、鉄鏃？がみられる。土師器、須恵器共に、複数時期を含む。
42	1	5	42	坂下古墳遠景写真	1			個人蔵	一紙	紙焼写真。坂下古墳の立地がよく捉えられている。	封筒に「下米田村今区坂下古墳」記載
43	1	5	43	土田村の古墳調査写真	30			個人蔵	一紙	紙焼写真。「土田村」「土田村渡東山石棺内」の記載	大規模な工事(調査)だったことがわかる。
44	1	5	44	川合古墳出土品写真	1			個人蔵	一紙	紙焼写真。鉄剣3点、鉄鏃？1点、耳環1点、鉄鏃？2点がわかる。	「可児郡今渡川合古墳」
45	1	5	45	永洞古墳石棺写真	2			個人蔵	一紙	紙焼写真。発見時及び蓋を埋葬された人骨がわかる。	現 愛知県犬山市富岡。昭和9(1934)年発見。家形石棺。20代後半の人骨。知られていなかった様子がわかる写真。
46	1	6	47	加茂郡における石器時代遺跡遺物の話	1			個人蔵	ひも綴		
47	1	6	48	(石器時代遺物図版)	1			個人蔵	ひも綴	表紙つくが無題。加茂郡の遺跡が中心。半ば以降は白紙のまま。	「加茂郡における石器時代遺跡遺物の話」に対応する図版編の可能性はある。
48	1	6	49	(論考作成の準備資料？)	1	昭和27頃	1952頃	個人蔵	便箋帳	石器時代に関する論文の整理、明治時代からの研究史整理等が記載。古墳時代に関するページもみられる。	
49	1	6	50	出土品を買い取ることも・・・	1	昭和13	1938	個人蔵	一紙	請求書(仮)。出土品の古鏡代としてか(60円)。「可児郡伏見村」の西田氏より。	
50	1	6	51	石器の出土地を記録する	1			個人蔵	写真	石匙の拡大写真。小さな紙を貼り、そこへ発見地名を筆書している。大字、小字まで記した。	
51	1	6	52	土師器 甕	1	古墳時代後期		館蔵	土器	「古井村神明堂古墳(?)」	
52	1	6	53	出土地を示すラベル	1			館蔵	一紙、ひも	土師器甕(1-52)の付属品。登録番号、遺物名、「発見地」、出土状況を記入。要を得た形式。	

53	1	6	54	美濃国刻印須恵器とその報告	1	奈良時代	8世紀前葉	館蔵	土器	「美濃国」、現 関市大杉出土	考古学雑誌14-6(大正13年)掲載
54	1	7	55	観察記録と実物？(土師器小壺)	2			原資料: 南山大学人類学博物館、個人蔵	写真、土器	タイトルに「七月二十四日 林魁一氏宅 おいて 塩崎深雪」とある。子持曲玉(こもちまがたま)、小壺	
55	1	7	56	書簡	1			個人蔵	便箋、封筒	吉田英敏(関高校社会研究クラブ)→林。吉田は、後に考古学調査・研究にまい進。岐阜県で大きな成果を残した人物。	
56	1	7	57	林魁一との思い出	2			館蔵	書籍	森浩一1995「飛騨に勇気をあたえる」『飛騨と考古学』。神村透2004「いくつもの出会いがあつて」『アルカ通信』no.13	
57	1	7	58	出陳の承諾(葉書)	1	昭和30	1955	原資料: 南山大学人類学博物館蔵	写真	南山大学が中心となって企画された「中部日本古代文化展」(会場: 徳川美術館、名古屋市)への依頼に対する回答。	
58	1	7	59	出陳の依頼	1	昭和27	1952	個人蔵	一紙、封筒	大阪市立美術館から子持勾玉について。	
59	1	7	60	出陳の依頼	1			個人蔵	一紙、封筒	金城学院大学(名古屋市)、奥田恵三から。大学で「歴史の展覧会を開催」するための協力を依頼するもの。なお、「一昨年、御寄付の品が…」とある。	
60	1	7	61	出陳の感謝状	1	昭和20	1945	個人蔵	一紙	「謝状」岐阜県教育会から「重弧文 古瓦片 一」について。付属郷土館は、昭和18-19年までの活動が知られていたが、その後を示す史料か。	参考: 小川貴司 2005「小川栄一日誌に見る岐阜郷土館一戦時下の博物館活動について」『岐阜市歴史博物館研究紀要』第17号
61	1	8	62	人類学民族学研究所	1			館蔵	図書	安藤義弘ほか2007「中山英司と愛知の遺跡」『伊藤秋男先生古希記念考古学論文集』	
62	1	8	63	林魁一と南山大学	1	昭和28	1953	原資料: 南山大学人類学博物館蔵	翻刻	伊奈森太郎「林魁一翁の横顔」『人類学研究』1-3より	
63	1	8	64	考古学の大家 林魁一翁	1	昭和28	1953	館蔵	図書	林亨三1953『なつかしの古里 太田の巻』。林の集品について、南山大学への寄贈の様子を記載。	
64	1	8	65	林魁一氏所蔵考古学遺物目録	1	昭和25	1950	原資料: 南山大学人類学博物館蔵	写真	作成時期や内容、前後の関連資料等から、寄贈にあたっての目録と考えられる。	
65	1	8	66	「林翁 南山大学へ寄贈」記事	1	昭和25	1950	個人蔵	新聞	中部日本新聞(2月15日付)。	
66	1	8	67	書簡	1	昭和25	1950	個人蔵	封書	便箋3枚(昭和25年2月9日付)。林家からの寄贈品搬入の完了報告等。	

67	1	9	68	岐阜県における俗謡	1	昭和8	1933	個人蔵	図書	「俗謡」は、主に小唄や民謡を指す。自身が、昭和3年春から県参事会に加わったことで各地を巡ったこと、その折に採集したことが示されている。巻末には、漢詩を掲載。	
68	1	9	69	俗謡研究に関する資料？	6			個人蔵	小冊子類	リーフレット、パンフレット類	
69	1	9	70	民俗調査時の写真	24			個人蔵	紙焼	景観、建物、生業や暮らし、人物、信仰等が対象か。現在、未整理品が多数ある。	
70	1	9	71	佐渡に関する三部作	3			個人蔵	冊子、図書	「佐渡紀行」「佐渡の石器時代遺物の事」「佐渡遊草」	
71	2	1	1	漢詩 七言絶句	1	年代不明		個人蔵	めくり	141.0×34.7cm	林蘇陽
72	2	1	2	漢詩 七言絶句	1	年代不明		個人蔵	めくり	140.0×35.0cm	林蘇陽
73	2	1	3	林魁一宛て葉書	1	大正4	1915	個人蔵	葉書	9月20日	木蘇岐山
74	2	1	4	漢詩 七言絶句	1	昭和32	1957	個人蔵	色紙	18.0×20.8cm	林蘇陽
75	2	1	5	漢詩原稿	1	昭和29	1954	個人蔵	原稿	2月20日	林蘇陽、服部轍
76	2	1	6	『雅聲』百八十一号	1	昭和11	1936	個人蔵	雑誌		編集発行 辻市治郎
77	2	1	7	『雅聲』百八十七号	1	昭和12	1937	個人蔵	雑誌		編集発行 辻市治郎
78	2	1	8	『漢詩』	1	昭和26	1951	個人蔵	雑誌		編集 富永覺夢
79	2	1	9	藤城詩文鈔原稿	1	昭和2頃	1927頃	個人蔵	原稿		
80	2	2	1	俳句「浮嶋や」	1	年代不明		個人蔵	短冊	36.0×6.0cm	林鳴南
81	2	2	2	連句「雨雲は」	1	昭和29	1954	個人蔵	色紙	26.7×24.0cm	林鳴南
82	2	2	3	画賛「新坐敷」	1	年代不明		個人蔵	扇子	28.0×43.0cm	林鳴南
83	2	2	4	『きさらぎ』第十二号	1	昭和元	1926	館蔵	雑誌		発行 橋本隆吉・如月会
84	2	2	5	『きさらぎ』第二十九号	1	昭和4	1929	館蔵	雑誌		発行 橋本隆吉・如月会
85	2	2	6	『岐蘇』第二十六号	1	昭和13	1938	館蔵	雑誌		編集発行 木村照太郎・蘇北吟社
86	2	2	7	八百津 神明神社にて	1	昭和15	1940	個人蔵	写真	7月15日	撮影 古田和起
87	2	2	8	美濃派獅子門 感状	1	昭和28	1953	個人蔵	賞状	6月3日	高橋清斗
88	2	3	1	書画貼交屏風	1			個人蔵	屏風	174.0×176.0cm	
89	2	3	2	書画貼交屏風	1			個人蔵	屏風	174.0×176.0cm	
90	2	4	1	林魁一宛て葉書	1	大正10	1921	個人蔵	葉書	10月28日	河合米田
91	2	4	2	林魁一宛て年賀状	1	大正15	1926	個人蔵	葉書	1月1日	河合米田
92	2	4	3	大矢峻嶺宛て書簡	1	昭和24	1949	館蔵	書簡	5月25日	林魁一
93	2	4	4	大矢峻嶺 林魁一宛て葉書	1	昭和30	1955	個人蔵	葉書	4月12日	大矢峻嶺
94	2	4	5	大矢峻嶺 林魁一宛て書簡	1	年代不明		個人蔵	書簡	3月31日	大矢峻嶺
95	2	4	6	画賛「木曾川は」	1	年代不明		個人蔵	短冊	36.5×5.8cm	岡本一平
96	2	4	7	林魁一の像	1	年代不明		個人蔵	色紙	26.5×23.5cm	岡本一平
97	2	5	1	柳原燐子 林魁一・文子宛て書簡	1	昭和17	1942	個人蔵	書簡	11月12日	柳原燐子
98	2	5	2	短歌「きみ征きて」	1	年代不明		個人蔵	短冊	36.1×6.0cm	柳原白蓮
99	2	5	3	短歌「雲水の」	1	年代不明		個人蔵	短冊	35.6×5.9cm	柳原白蓮
100	2	5	4	短歌「恋しきは」	1	年代不明		個人蔵	短冊	36.3×6.2cm	柳原白蓮
101	2	5	5	白秋追弔会後	1	昭和18	1943	個人蔵	写真	5月3日	朝日新聞 一宮通信局
102	2	5	6	短歌「あきの風」	1	年代不明		個人蔵	軸装	23.0×36.0cm	柳原白蓮
103	3-1-1			林魁一日記(1)	1	大正5	1916	個人蔵			
104	3-1-2			林魁一日記(2)	1	大正6	1917	個人蔵			
105	3-1-3			林魁一日記(3)	1	大正7	1918	個人蔵			
106	3-1-4			林魁一日記(4)	1	大正8	1919	個人蔵			
107	3-1-5			林魁一日記(5)	1	大正10・11	1921・1922	個人蔵			
108	3-2-1-1			阿部栄之助から林魁一	1	昭和9	1934	個人蔵		9月13日	
109	3-2-1-2			阿部栄之助から林魁一	1	昭和24	1949	個人蔵		4月22日	
110	3-2-1-3			『濃飛両国通史』(上・	2			館蔵	(上)大正12(1923)、(下)大正13(1924)		
111	3-2-2-1			小川栄一から林魁一宛	1	大正13	1924	個人蔵			
112	3-2-2-2			小川栄一から林魁一宛	1	昭和5	1930	個人蔵			
113	3-2-2-4			桜堂薬師世話人から林魁一宛て書状	1	大正12	1923	個人蔵		4月5日	

114	3-2-3-1	『稲葉郡誌』	1	大正4	1915	館蔵		9月30日	
115	3-2-3-3	「渡部博士の史料採訪」 『岐阜県教育』第315号	1	大正9	1920	個人蔵		10月30日	
116	3-2-3-4	土岐琴川から林魁一宛 て葉書	1	大正10カ	1921カ	個人蔵		3月カ21日	
117	3-2-4-1	柳田国男から林魁一宛	1	昭和22	1947	個人蔵		4月16日	
118	3-2-4-2	柳田国男から林魁一宛	1	昭和26	1951	個人蔵		10月5日	
119	3-2-5-1	柴田によって図化され た出土品の数々	4			個人蔵			
120	3-2-5-2	柴田常恵から林魁一宛	1	昭和5	1930	個人蔵			
121	3-2-5-3	柴田常恵から林魁一宛 て年賀状	1	不明		個人蔵			
122	3-2-5-4	柴田常恵野帳資料 No.1	1	明治35	1902	国学院大学デ ジタルミュージ アム画像		11月2日	
123	3-2-5-5	柴田常恵野帳資料 No. 45	1	大正5	1916	国学院大学デ ジタルミュージ アム画像		7月12日	
124	3-3-1-1	林魁一「美濃考古史談 会の成立」『人類学雑 誌』29-7	1	大正3	1914	個人蔵			
125	3-3-1-2	林魁一「美濃国稲葉郡 各務野近傍の遺跡遺 物」『人類学雑誌』30-6	1	大正4	1915	個人蔵			
126	3-3-1-3	林魁一「美濃考古史談 会の展覧会」『人類学雑 誌』34-9	1	大正7	1918	個人蔵			
127	3-3-2-1	中島清一(名古屋史談 会)から林魁一宛て年 賀状	1	昭和3	1928	個人蔵			
128	3-3-2-2	箕形鐵太郎(名古屋史 談会)から林魁一宛て 年賀状	1	昭和6	1931	個人蔵			
129	3-3-3-1	林魁一宛て小川の葉書	1	昭和6	1931	個人蔵		4月1日消印	
130	3-4-1-1	『美濃国加茂郡誌』	1	大正10	1921	館蔵		5月30日	
131	3-4-2-1	『史蹟名勝天然紀念物』第	1	大正15	1926	館蔵		6月25日	
132	3-4-3-1	通常岐阜縣会速記録「林	1	昭和6	1931	館蔵			
133	3-4-3-2	通常岐阜縣会速記録「林	1	昭和7	1932	館蔵			
134	3-4-3-3	日本考古学会への史跡保 存の要望書原稿	1	不明		個人蔵			
135	3-4-4-1	『史蹟名勝天然紀念物』第	1	昭和4	1929	館蔵		11月1日	
136	3-4-4-2	『史蹟名勝天然紀念物』第	1	昭和4	1929	館蔵		12月1日	
137	3-4-4-3	日本新八景への投票依	1	昭和2	1927年頃	個人蔵		5月10日	
138	3-5-1-1	『太田町勢要覧』(1949	1	昭和24	1949	館蔵			
139	3-5-1-2	「町会議員立候補者林 魁一選挙事務所」立看 板	1	昭和4	1929	個人蔵			
140	3-5-1-3	町会議員立候補者立看板	1	昭和4	1929	個人蔵			
141	3-5-1-4	太田町会議員当選告 知書(太田町長・林奨) から	1	昭和4	1929	個人蔵			
142	3-5-2-1	太田町会議員から岐阜 県議会議員への推薦状	1	昭和6	1931	個人蔵		9月	
143	3-5-2-2	林魁一選挙事務所立看板	1	昭和6	1931	個人蔵		9月	
144	3-5-2-3	岐阜県會議事堂前の議員	1	昭和8	1933	個人蔵			
145	3-7-7-1	『新愛知新聞』	1	昭和10	1935	館蔵		3月1日付け	

（１）考古・民俗の章について

林家からは、考古資料をはじめ、遺品、収集した書籍（自著の掲載分を含む）や記録類（出土品の図、遺跡や遺物の写真等）を借用し、一部を展示し紹介することができました。特に考古資料については、発見時の情報を伴うものも多く、学術資料としての扱い、明治時代以来大切に保管されてきたこと等がわかります。そのうち、『美濃加茂市史』をはじめとする後年の刊行物に掲載されている貴重な遺物を一部特定し、現状を確認できましたが、自著掲載との照合は、多くが課題となりました。

また、研究成果の地域への還元・教育普及した姿として、現在の美濃加茂市西中学校や南山大学等への協力を示す資料群は、新たな発見となりました。

そして、岐阜県内の民俗調査時と思われる写真類のほか、「佐渡に関する三部作（no. 70）」とした一群には同一地の「紀行文」「歴史・考古の報告」「句集」があり、各地踏査の実際を想像させるものでした。



（２）文芸・美術の章について

文芸・美術の章では、林魁一が文化芸術に強い関心持ち活動していたことを示す資料を展示しました。まず、自作の漢詩の書、自身が参加していた漢詩の詩誌や詩の師からの手紙、林が所属し太田支社の代表を務めた美濃派獅子門の関係資料などを当館の所蔵資料と併せて展示しました。ウォールケースには、魁一の時代に作られたものとして林家に伝わる貼り交ぜ屏風を展示しました。落款や画風・書風から作家名が判明し、この地域で活躍した詩人や画人の他、京都画壇の画家の作品が多く含まれていました。また、特に交流の深かった地域の画家として、大矢峻嶺、河合米田、岡本一平の絵や書簡を展示するコーナーを設けました。最後に、林家に幾度か滞在した柳原白蓮からの手紙・短冊などを展示しました。



それらの資料群から林が文人・画人と交流し、地域の文芸文化の担い手でもあったと分かりました。なお、会期の後半には隣の会場で、関連企画として収蔵品展「大矢峻嶺と河合米田」を開催しました。

（３）人物・歴史の章について

林家からは考古資料とともに大正期の日記及び関係する書簡類等膨大な資料を借用し、その一部を展示しました。この章で展示の柱ともなった林魁一の日記は、大正５年から８年、１０年と１１年の一部の合本のあわせて約５年分が現存し、そこからは、多彩で精力的な林魁一の知的探求活動を知ることができました。また、当時の風俗や交通通信などこの地域の日常生活の状況を今に伝える貴重な一次資料であることが判明しました。

展示では、大正から昭和初期にかけ広範なネットワークを通して進められた林の調査研究の様相を概観し、それに裏付けられた社会的な動き、具体的には岐阜県内の研究団体や博物館との関わりや史蹟保存に対する林の姿勢や行動の一端を明らかにできました。

「蘇陽」という名で雑誌などに多く投稿したように、彼の心のよりどころは生家の眼下に望む「木曾川」でした。「文明の進に従ひ名勝を知らず知らずの間に失ふ」ことに大きな危惧を抱いていました。風致を守り、先人たちが生きた証である「古蹟」を残していくことの必要性を強烈に説いたのです。現在、文化財保護法のもとに進められている史跡や埋蔵文化財保護体制の礎を大正から昭和にかけて林は岐阜の地で築いていました。



【アンケート結果】（全 70 枚・複数回答あり）

選択設問から

① 展示の資料・作品の見やすさ（配置、明るさ、空間など）にご満足頂けましたか？	
・ 満足	27
・ ほぼ満足	24
・ ふつう	10
・ やや不満	0
・ 不満	0
・ 回答なし	9
計	70
② 展示の資料・作品の分かりやすさ（解説、説明、パネルなど）にご満足頂けましたか？	
・ 満足	28
・ ほぼ満足	21
・ ふつう	10
・ やや不満	1
・ 不満	0
・ 回答なし	10
計	70
③ 展示の資料・作品から満足感（感動、発見、知的刺激など）が得られましたか？	
・ 満足	34
・ ほぼ満足	15
・ ふつう	6
・ やや不満	1
・ 不満	0
・ 回答なし	14
計	70
④ この展示を他の人に伝え、来館をすすめたいと思いますか？	
・ 大いに	27
・ 少し	22
・ どちらともいえない	11
・ あまりすすめたくない	0
・ すすめたくない	0
・ 回答なし	10
計	70

自由記述から

・今まで知らなかった林魁一さんのことがよくわかりました。ミュージアムトークもわかりやすかった。最初の新聞記事で林魁一さんについてわかりやすく記載されていた。いつも散歩している場所が飛鳥時代の重要なところと知って、これからの散歩の楽しみが一つ増えた。スタッフの皆さんありがとうございました。

・森の中に行くのが楽しい。作品がそろっていてすごかった。

・ポリュミーで一部しか見れなかったのでまた来たいです。

・展示解説を聞きました。とてもいいので分かりやすかったです。林魁一の人となりに興味深かったです。

・金の屏風がよかったです。すごくおしゃれな感じがしました。白蓮さんと親交があったのは意外でした。

・父や兄が生前「蘇北吟社」で鴨南先生に俳句を習っていたことがあり、展示品のいろいろに感慨を深くしました。

・日記帖等の古い資料が展示しました。古書マニアの私にとっては鑑定しやすくなるといいね。数多くの人達との交流が深まる中、其れに関する事をめぐり続けていました。

・名家には、文化人が居る事を思いおこさせました。

・新聞の記事をもう少し拡大するとよい。

・とても興味深い展示が多く感動致しました。

・目録2-4-4について。「墓詣で…、水野様より今日御はがきいただき申候」水野様とは誰？まさか郡上八幡の水野柳人では。俳画、俳句作品多し。鮎の画家として有名（作品が米国ホワイトハウスにもあると聞きます）俳句作品も絶妙、谷崎潤一郎と交友あり。年頃ごろからして付き合いがあったのではないか。

・最近の博物館でパネル等の撮影可は常識！！（個人蔵の物は例外の上で）。資料2-2-8の「感状」の解説で「…戦後の一九四〇年…」の誤記あり。

・文字が小さい為、読み取る事が困難です。拡大模写したものを展示するか、或いは開設パネルを設けて、主要箇所を抜粋し掲示してもらえると有難かったです。漢詩の創作、著名な文化人との交流等、貴重な資料を目にすることが出来ました。立派な方の行動や思考に触れ、日々の不勉強を恥ずかしく思い、改めて好奇心を持って学んでいこうと思ひ直しています。素晴らしい企画展示を見せていただき、有難うございます。

・先日、太田宿の本陣を見学させて頂き、その時にこの展示を知りました。また、新聞でも報道されていたので是非に見たいと思ってました。よくぞこれだけの資料が保管されているものだと感心しました。

・全く知らないで来館しました。郷土の偉大な先人にふれることが出来ました。ありがとうございました。昔の人のいろいろなものが美しくとってあること…！

・白蓮と交流があったことに驚きました。

・こんな立派な人が居るという事をまったく知りませんでした。考古学の資料は見えてわかるのですがもう少し説明があったほうが良いです。有名人(?)との交流をみて書簡類はもう一つよくわからなかったが芸術家との交流は「書画貼交屏風」の中に数名の知った名前がありよかったです。できたらこの画家の説明をもう少し欲しかった。でもこれだけの展示物を整理され展示された努力はすばらしいと思いました。

・郷土についての愛着が持てた。色々な遺物があったり遺跡があることが理カイでした。

・政治、歴史、文学など多方面にわたっての展示構成はすごく良

かった。面白いです。

- ・多方面に活やくされたことがよく分かった。
- ・調査して展示するまで大変な作業だったと思います。わかりやすく展示していただき、ありがとうございました。
- ・こんなにも詳しく資料が残っていた事に驚きました。
- ・とても貴重なコレクションを直接目にできたことに感動しております。ありがとうございます。